

■小砂丘忠義 教育運動家。{綴方読本}選評と{綴方生活}論述が全国教師の実践指針になるも、貧窮のうちに早世。

ささおかただよし

八幡製鉄始・1897＝ 高知県長岡郡本山村で、生まれる。

日露戦争終・1905＝ 8歳：
満鉄発足・・1906＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝15歳：

21ヶ条要求・1915＝18歳：

ロシア革命・1917＝20歳：高知師範学校を卒業。大杉尋常高等小学校訓導となる。

大暴落・・・1920＝23歳：土佐郡旭尋常高等小学校から、
原敬首相暗殺1921＝24歳：土佐郡行川高等小学校。_中島菊夫・吉良信之と{SNK協会}を創立，{地軸}を創刊し「教育界の革命」連載。下
中弥三郎が2年前に立ち上げた教員組合{啓明会}に地方会員として参加，
水平社結成・1922＝25歳：土佐郡梅ノ木小学校を経て，
関東大震災・1923＝26歳：長岡郡豊小学校。_下中らによって創刊された{教育の世紀}の高知支部を設立。
護憲三派圧勝1924＝27歳：{地軸}を再刊するが，県学務当局の圧迫により4号で中止。
治安維持法・1925＝28歳：_長岡郡田井第一小学校校長となったが，{教育の世紀}編集のため，退職して上京，
金融恐慌・・1927＝30歳：_{文園社}に移り，{鑑賞文選}の編集に専念する。
共産党事件・1928＝31歳：_{教育の世紀}も廃刊となる。
世界恐慌・・1929＝32歳：*志垣を主幹に{綴方生活}を創刊し，全国の綴方教師を結集。

満州事変・・1931＝34歳：*志垣らと別れて{郷土社}を設立，野村芳兵衛・上田庄三郎と{綴方生活}第2次宣言を発表。以後，主宰して
，生活綴方の実践運動に大きな影響をもたらし，学年別の綴方と児童詩の投稿誌{綴方読本}({鑑賞文選}改題)の児童文の選評と{綴方生活}の編集方針は，全国の生活綴方教師の実践への指針となるなか，

国際連盟脱退1933＝36歳：

日中戦争始・1937＝40歳：*貧窮のうちに，肝臓肥大症となり，東京で没した。遺稿集「私の綴方生活」。
その指導体系は，1945年以後の生活綴方復興期に再発見され，今日にうけつがれている。